

## 第41回少林寺流全国空手道選手権大会

### 3位入賞報告!

8月23日(日)、横浜市文化体育館で第41回少林寺流全国空手道選手権大会が行われ型試合中学生の部で3位入賞を果たした出口翔一君(垂水)が8月28日(金)、町長を訪ね報告しました。

型試合中学生の部には全国から152名の選手が参加し、中学1年生で身長143cmの出口君は、体格の良い中学3年生など上級生を相手にスピードと気合いで勝ち抜きました。鶴田町長は「今回の入賞は小さいときから本当に一生懸命に頑張ってきたこれまでの練習の成果だと思います。空手以外にも囲碁が強く、文武両道、他の才能を持っており優勝は難しいと思います。チャンスは2度あるので中学3年生までに優勝してもらいたいです。来年の国際大会にも期待しています」と今後を期待し激励しました。

出口君は「今回中学生になって初めての全国大会で3位になって嬉しかったです。来年こそは全国大会優勝を目指します」と次の目標を力強く語っていました。



## 福岡県社会教育委員連絡協議会表彰

9月18日(金)、福岡県立社会教育総合センターで「福岡県社会教育研究大会」が開催され、上毛町社会教育委員として活動されている百留義信氏(百留)に表彰状が贈られました。

百留氏は、平成8年から旧大平村、上毛町の社会教育委員として10年の長きにわたり町の社会教育行政の推進にご尽力されてきました。その功績に対して表彰を受けました。



## 築上東中バレーボール部(女子) 全国大会出場

### みんなで次の目標に向かって!

8月6日(木)～8日(土)、鹿児島県で「第42回九州中学校バレーボール競技大会」が行われ、3位入賞を果たし全国大会への出場権を獲得した築上東中バレーボール部が8月14日(金)、町長を訪ね報告しました。

8月17日(月)～20日(木)、大分県で行われた全国大会では全国各地で勝ち抜いてきた強豪チームとの激戦を繰り広げベスト16に進出と奮闘しましたが、兵庫県の五色中学校に逆転負けしました。

キャプテンの戸江真奈さんは「少し悔いは残ったけど、高校でもっと上を目指して頑張ります」と次の目標を力強く語っていました。



## 第35回築上郡軟式野球大会結果

9月6日(日)、吉富漁港総合グラウンドで第35回築上郡軟式野球大会が行われ、各町代表チームによる熱戦が繰り広げられました。町代表チーム「上毛町」は8月に行われた町の軟式野球大会で勝ち残った宇野東区チームの選手を中心に1回戦、準決勝と勝ち進みました。決勝戦で吉富町に惜しくも敗れましたが準優勝と健闘しました。



## 第71回新吉富夏季囲碁大会結果

9月13日(日)、げんきの杜で夏季囲碁大会が開催され、14名が2つのパートに分かれて対戦しました。結果は次のとおりです。

<b>Aパート(八段～三段)</b>	<b>Bパート(二段～2級)</b>
優勝 小川俊二(六段)4勝1敗	優勝 岡崎 明(2級)4勝1敗
2位 上西怜悟(四段)	2位 吉崎義人(二段)
3位 前田暢夫(六段)	3位 出水義弘(二段)
敢闘賞 岡崎 純(1級)	

## 農業体験「ふくおか種まきバス」

### 学生と農業をつなぐための体験交流ツアー

農業を体験する大学生バスツアー「ふくおか種まきバス(福岡県認定農業者組織連絡協議会主催)」に参加した大学生4名、実行委員1名の計5名が、認定農業者磯田三好さんのほ場で9月10日(木)にブロッコリーの定植、11日(金)にいちじくの収穫、崎崎昌宗さんの宮崎農園でぶどうの収穫を体験しました。10日(木)の夜に行われた町内認定農家7~8名との交流会では意見を交換し合い親睦を深めました。参加者は「学校の先生を目指して特別学級で子どもたちに野菜を自分で作り、食べる喜びを知ってもらいたいです」「家の周りの耕作放棄地を何とかしたいと思い大学で農業を学んでいて、今回は現場の方たちに話を聞きたいと思い参加しました。買って食べるのは一瞬ですが、育てるのにはすごく時間がかかる農家の苦勞を分かって皆さんに食べ物を食べてもらいたいです」、実行委員は「学生と農業をつなぐためにツアーが企画されました。私は実家の認定農家で農業をしています。農業に興味を持っている若者が多いですが、見るのとやるのとは違い肌に合う人と合わない人がいるので、やってみて合う人がいれば農業をやってもらいたいと思います。肌に合うかを感じてもらう機会がもっと増えたら良いと思います」と参加したきっかけ、農業への思いや将来の目標などを語っていました。受入農家の磯田さんは「普通若い人が嫌うような農家の仕事体験にどう思うかと参加するのを知りたくて受け入れに応じました。皆さんは生半可な気持ちでなく、しっかりした自分の考えや目的を持って参加していて感心しました」と話していました。



## 第10回豊前国子供神楽サミットin大平楽

### 郷土の伝統文化「神楽」をつなぐ

8月23日(日)、大平楽で「第10回豊前国子供神楽サミットin大平楽」が開催されました。「発表の場がない子供神楽のために何か協力できないか」と町おこし団体「楽一通り夢サミット」がイベントで子ども神楽の発表の場を作るサミットを始め今年で10回目を迎えました。「楽一通り夢サミット」の豊田無圓さんは「郷土の伝統文化を伝える豊前国子供神楽を支援していきたいです。おじいちゃんおばあちゃんが喜ぶので老人クラブなどで舞ってもらいたいです。ぜひお子さんに興味を持ってもらい地元の子ども神楽の舞い手になってもらいたいです」と思いを語っていました。メインスポンサーで会場を提供した大平楽を代表して、さわやか市「大平」伊藤店長は「今回場所を提供できて子どもの伝統文化継承のお手伝いができて嬉しいです。今後も継承のお手伝いをしていきたいです」と挨拶しました。町から成恒神楽及び近郊の蛸瀬・吉富・黒土・麻生・本耶馬溪の各子供神楽講が御先・乱れ御先・剣等の16演目を披露しました。集まった会場の多くの方たちは成恒子供神楽の「巫女舞」に「可愛らしい、愛らしい舞いね。女の子の舞いは良いね」とにこやかに舞いを楽しんでいました。



## 敬老のつどい

9月19日(土)、げんきの社と中央公民館支館で「上毛町敬老のつどい」が開催されました。今年度の対象者(75歳以上の方)は1443名で、当日は630名の方が元気出席されました。式典では、100歳以上の長寿を迎えた5名の方、米寿を迎えた52名、金婚式を迎えた27組のご夫婦にお祝い状と記念品が贈られました。式典後のアトラクションでは、上毛万年の会の皆さんによる上毛万年音頭の披露や友枝神楽の大蛇退治、ZENKAI少年太鼓(和)による太鼓演奏が行われ、両会場とも大きな声援と拍手に包まれました。



## 新吉まつり

### 手づくりのお祭りで多くの来場者

9月5日(土)、(株)ユニシア九州・日本プラスト(株)共催、町が後援して「新吉まつり」がユニシア九州で開催されました。日頃の感謝の気持ちを込めて、地域住民の方へ楽しんでもらうと企画されたこの祭りは、文化協会の方々の上毛万年音頭や、一般参加を募った早食い競争など手づくり感あふれる内容で、集まった多くの来場者は祭りを楽しんでいました。町は景気回復を祈願した餅つきで祭りに参加し、来場者にきなこ餅と酢餅をふるまいました。



When I arrived in Koge-machi in July, I was a little nervous about my new life and teaching in Japan. All of my students, as well as the teachers and staff members at all the schools have been so kind to me however, that every day for me is new and exciting, and I don't feel nervous anymore! Last month, I started teaching at many different primary schools together with Joukei Miyuki sensei, and at two different kindergartens. I am very pleased to see that all of the students are very enthusiastic about learning English. I also attended the Shinyoshi festival last month, and ate various tasty foods, and drank tasty drinks and ate ice-cream too! It was also lovely to be greeted by Koge town-folk, and my students because it made me feel at home. Currently I'm looking forward to attending the Sports carnivals at the various schools that are coming up!



私は7月に上毛町に到着したとき、日本での新しい生活や、英語を教えることについて、少し不安でした。でも、小学校の児童や先生、ほかのスタッフたちはとても優しいので、毎日が新鮮で楽しく、今では全然不安はありません！先月から、私は常盤弥由貴先生と一緒にいろいろな小学校で授業をし、2つの保育所でも英語を教え始めました。授業で子どもたちがとても熱心に英語の勉強をしているのを見て、私は本当に嬉しくなりました。私は先月、「新吉まつり」に参加して、たくさんおいしい食べ物を食べたり、おいしい飲み物を飲んだり、アイスクリームも食べました！そして、上毛町に住んでいる人や子どもたちが私にあいさつしてくれたので、私は歓迎されているんだな、と感じるようになりました。今、私はいろいろな小学校の運動会に出席することを楽しみにしています！

## ルート10クリーン作戦

### 人と環境が共に生きるまちづくり

8月21日(金)、国道10号線(大ノ瀬~唐原水出)を中心に築上東中学校生徒・上毛祭実行委員会・地元企業・国土交通省・豊前土木事務所職員217名が空き缶・ゴミ拾いなど道路の清掃活動を行いました。この活動は、道路を守る月間(8月)に地域の大人と青少年が合同でボランティア活動を行うことにより、地域の活性化と青少年の健全育成につなげることを目的としており、地元の方のご協力により今年で12年目を迎えました。開会式で上毛祭実行委員長山下朗さんが「去年より多くの80名のボランティアの皆さんの参加はありがたく嬉しいです。日頃自転車や車で通っている道路に色んなゴミが落ちていて、どんなに汚いか再確認しましょう」と挨拶し、築上東中学校生徒を代表して生徒会長の角誠二郎君が「自分たちの町をきれいにするために一生懸命に取り組みましょう」と宣誓を行いました。炎天下の中、汗だくになりながらゴミがないか道路を必死に見つめたくさんのゴミを拾った生徒たちは、思ったよりゴミが多いことに驚き、環境を守る大切さを再認識していました。閉会式では奥野副町長が「町では、人と環境が共に生きるまちづくりを行い、次の世代へ引き継いでいくために『環境の町』を宣言しています。本日の清掃活動はこのまちづくりの一環です。ゴミを捨てない、捨てさせない気持ちを深めていくことを期待したいです」と謝辞を述べました。生徒を代表して生徒会副会長の国実咲希さんは「これからはゴミを捨てないようにしましょう」ときれいなまちづくりへの決意を新たにしました。

